

給食をみんなで食べるということ。

— 学校給食の意義

学校給食は、こどもたちの心身の健全な発達に直接役立つだけでなく、食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を果たしています。また、学校給食は学校における食育の推進を図るために学校教育の活動の一環として位置づけられて実施されています。



学校給食は

- バランスのとれた食事をするにより、こどもたちの健康増進、体位向上を図り、日常生活における正しい食習慣を身に付けることができます。
- 先生とこどもたちが食事を一緒にすることによって、先生とこどもたち、こどもたち同士の心の触れ合いの場を作り、好ましい人間関係の育成に役立ちます。
- 食前の準備、あとかたづけを通じて、共同生活における協同、協調の精神を養うことができます。

などの意義を有しています。

学校給食の目標

学校給食の有する意義や役割は多目的、総合的なものです。学校給食の目的を実現するために次の目標の達成に努めています。

- ① 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- ② 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ③ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- ④ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- ⑤ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- ⑥ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- ⑦ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。